明治大学大学院文学研究科／文部科学省・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業／
明治大学国際日本古代学研究クラスター／明治大学日本古代学教育・研究センター　共催
明治大学国際連携本部：後援

国際学術研究会『交響する古代Ⅶ』

2017 年 1 月 13 日（金）～1 月 14 日（土）
10:00～（開場 9:30）

場所：明治大学　グローバルフロント　1F　多目的室

全体テーマ：古代文化資源の国際化とその意義　vol.2

※申込不要・入場無料

● 1 月 13 日(金)

関恭平（明治大学大学院）
「『源氏物語』蜻蛉巻薫独詠歌について
　―「荻の葉に露ふきむすぶ秋風」を起点として―」

ジリアン・バーント（USC）
「大学寮と勧学院：平安時代の教育を中心に」

桜田眞理絵（明治大学大学院）
「女帝「不婚」と「未婚」のあいだ」

坂口彩夏（明治大学大学院）
「皇位継承の変化と臨朝称制―持統天皇の即位・譲位前史―」

及川　穣（島根大学法文学部准教授）・佐々木憲一（明治大学文学部教授）
「資料学的アプローチによる北米の在外考古資料の資源化：近代化過程の分析と超克」

牧野淳司（明治大学文学部教授）
「源氏物語表白の文化史的研究」

カール・フライデー（埼玉大学人文社会科学研究科教授）
「武士研究の研究史のなかでの日本と外国の相互作用」

鄭雨峰（高麗大学校教授）
「箴言集『呻吟語』の東アジアの伝播と受容について」

中村成里（明治大学商学部専任講師）
「『栄花物語』巻二五の検討一後伏見天皇筆栄花物語切を端緒として一」

植田　麦（明治大学政治経済学部専任講師）
「『古事記』における名と称の表現―大物主神を中心に一」

● 1 月 14 日(土)

小口雅史（法政大学文学部教授）
「在欧敦煌吐魯番文書の調査成果とその文化資源化」

久米雅雄（大阪芸術大学客員教授・寧楽美術館評議員）
「アジア印章史の研究と方法論と印章文化資源の国際化
一寧楽美術館所蔵古璽印等の印学的研究と海外での公表と刊行一」

ジャネット・グッドウィン（USC 東アジア研究センター）
「近代以前日本史研究における共同研究と協力関係」

鈴木卓治（国立歴史民俗博物館）
「正倉院文書歴博複製資料の自在閲覧システムの開発とその展開」

加藤友康（明治大学文学部教授）
「日本古代における文書整理の営為」

吉村武彦（明治大学名誉教授）
「大宝令の復元と『令集解』『日本書紀』データベース
一大宝田令の復元を通じて一」

石川日出志（明治大学文学部教授）
「二つの金印一「漢委奴國王」と「親魏倭王」」